

平成 26 年度 第 11 回

日南市教育委員会

会議録

平成 26 年 11 月 18 日(火) 午後 3 時から
日南市役所 本館 2 階会議室

1 会議の名称 平成 26 年度教育委員会 第 11 回会議（定例）

2 会議日時 平成 26 年 11 月 18 日(火)
午後 3 時 00 分から午後 4 時 30 分まで

3 出欠確認

(1) 出席委員 迫元茂保 藤田義弘 八木真紀子
崎村洋子 黒木康英

(2) 事務局 学校教育課長 倉元保久
学校教育課長補佐兼管理係長 和田考巨
生涯学習スポーツ課長 早田秀穂
生涯学習スポーツ課文化財担当監 岡本武憲
学校教育課指導主事 加治屋輝昭
学校教育課管理係主査 瀬田順司

4 場所 日南市役所 本館 2 階会議室

5 傍聴者 1 名

6 開会

【迫元委員長】

「皆さん、こんにちは。

最近ずいぶん寒くなってまいりましたが、体調のほうはいかがでしょうか。

お話しにお聞きしますと、日南市内でも何校かでているということで、これから学校の方も大変ではないかなと思っています。

光健康には十分気をつけてもらいたいと思います。

10 月 29 日に P T A 協議会の役員の方々とふれあいコミュニケーションを行いました。

また、最近では、学校訪問とか基礎学力アップ推進事業の研究発表など出会えることが多くなりました。

大変お疲れ様です。

ふれあいコミュニケーションにつきましては、本日の議題にもしていますので、後ほど感想をいただきたいと思います。

それから、本日も傍聴ありがとうございます。

それでは、平成 26 年度第 11 回教育委員会定例会を開会いたします。」

7 出席者及び傍聴者確認

【迫元委員長】

「出席者及び傍聴者確認についてです。本日は、委員 5 名、全員出席です。（傍聴者 1 名）」

【早田課長】

「本日は、倉元学校教育課長と津曲学校教育担当監が所用ため欠席です。倉元学校教育課長と津曲学校教育担当監以外の事務局職員全員出席です。」

8 活動報告

（１） 教育委員長活動報告【迫元委員長】

- ① 10 月 11 日、台風のため延期になっていた小学校の運動会を参観しました。

油津小学校と鶴戸小中学校です。

油津小学校は、強い風で、砂の舞う中で子ども達が精一杯がんばっておりました。

鶴戸小中学校は、運動場の周りに木々があるため、思ったよりは風が強くありませんでした。

小規模校らしい、また、一貫教育校らしい種目が組まれ、楽しい運動会でした。

- ② 10 月 14 日、市町村教育委員会研究協議会があり、教育長、瀬田主査の 3 人で出席いたしました。

文部科学省の重要施策についての説明がありました。

特に、教育委員会制度の改正については、詳しく説明がありました。

今後、その主旨を生かして運用していきたいなと思っています。

- ③ 10 月 15 日、桜ヶ丘小学校の学校訪問に出席しました。

桜ヶ丘小学校は、学校としてのまとまりもあり、協力的で、チーム桜ヶ丘という感じがしました。

主題研究も充実しており、授業にも具体的に研究の成果が現れつつありました。

特別支援教育についても、学校一丸となって取り組んでおられました。

- ④ 10 月 24 日、南郷小学校の学校訪問に出席しました。

校長先生にとっては、最後の学校訪問で感慨深いものがあったようでした。

学校運営について、整理がなされ、PDCAのサイクルが整っているなど感じま

した。

授業では、子ども達が自分の考えや思ったことを素直に発表していました。

特別支援教育についても、全校での支援体制が考えられておりました。

- ⑤ 10月29日、臨時教育委員会があり、出席いたしました。

- ⑥ 同日、PTA協議会役員とのふれあいコミュニケーションがあり、出席いたしました。

委員の皆様にも全員出席いただきました。

教育長の方から平成26年度の教育基本方針について、説明をしていただき、その後、テーマに沿っての意見交換をしたところです。

いろいろ運営面では、改善するところもありましたが、PTAと教育委員が少しでも近くなったという点ではとても良かったと思っております。

それぞれの委員の皆様の感想を後ほど、お聞きします。

- ⑦ 11月1日、くろしお支援学校の日南陽祭に出席いたしました。

制作した作品の発表や劇、歌等日頃の学習の成果が発表されました。

一人一人が一生懸命発表し、自己の可能性へ挑戦する姿を見て感動しました。

- ⑧ 11月3日、日南市功労表彰式典と祝賀会があり、出席いたしました。

地方自治功労部門で植野章一氏、産業経済部門で、高山弘憲氏、教育・芸術・体育その他文化部門で日高敬二郎氏、公共福祉部門で増田タケ子氏の4名が受賞されました。

4名とも永年にわたり、各分野で、市政発展のためにご尽力された方であり、その功績に対して敬意を表したいと思います。

- ⑨ 11月4日、東郷小中学校の学校訪問に出席しました。

4つの学ぶ力、キャリア教育との関連を考えた指導がなされていました。

特に指導案の中に『他から学ぶ』『自ら学ぶ』という視点が明確にされておりました。

一貫教育校としての体制づくりについても着々と準備が進められていることを感じました。

- ⑩ 同日、日本赤十字宮崎県支部日南市地区第2回理事会があり、出席いたしました。主な内容は、上半期の事業実績についての報告でした。

- ⑪ 11月7日、日南市PTA協議会事務局にふれあいコミュニケーションのお礼に行ってきました。

- ⑫ 11月10日、社会福祉協議会第3回評議員会があり、出席いたしました。

主な内容は、報告事項と平成26年度社会福祉法人日南市社会福祉協議会一般会計第三次補正予算案についてでありました。

これまでの懸案事項であった事業改善計画についての報告がありました。

- ⑬ 11月12日、日南市基礎学力アップ推進事業細田中学校研究発表会があり、出席

いたしました。

委員の皆様にも全員出席いただきました。

テーマは、「自己の『ものがたり』をつむぐ授業の創造～授業の振り返りを『語り』の視点からとらえ直す学習指導と生徒の得意、興味を生かして苦手を補う学習支援を通して～でした。

生徒一人一人の意見を大切に、また学習スタイル等を生かしたグループ編成により、意見交換がしやすい場を作り、学習の質を高める研究がなされていると感じました。

参観者の参考になる研究がなされておりました。

- ⑭ 11月15日、つわぶきハーフマラソン&車いすマラソン大会 in 日南における歓迎レセプションがあり出席いたしました。

犬山市より12名の方が見えており、楽しく交流をすることができました。

- ⑮ 11月18日、榎原中学校の学校訪問に出席しました。

榎原中学校は、小規模校の特色を十分生かし、特色ある教育活動が行われておりました。

特に、地域との連携を図った教育や近隣学校との交流を図った取り組みなど積極的な学校運営がなされていると感じました。

地域・学校における人材の相互活用・交流は本校の特色だと感じました。

以上、活動報告を終わります。

(2) 教育長活動報告【黒木教育長】

- ① 10月16日、校長ヒアリングをこの日から5日間、集中的に行っています。

来年度の校内の職員体制や現在の学校の課題等について、校長先生にヒアリングをいたしました。

- ② 10月17日、「大きな木がほしい」プロジェクトに出席しました。

ただいま、教育委員会で進めている取り組みについて、関係課に集まっていたいて話をしたところです。

- ③ 10月20日、日南学園ポーツマス訪問壮行会に出席しました。

- ④ 10月23日、都市教育長会議に出席しました。

- ⑤ 10月26日、南郷ハートフル祭オープニングセレモニーに出席しました。

昨年にもぎやかだと思いましたが、今年も非常に多くの方に来ていただきました。地域の方も楽しみにされていると感じました。

- ⑥ 10月27日、東京に出張しました。

内容は、花まる学習会の高濱先生と元上智大教授の中野先生とお会いしました。

児童の発達障害等について、意見交換を行いました。

また、積み木プロジェクトについても相談してきました。

- ⑦ 10月29日、飢肥中学校の生徒2人が市長への表敬訪問に来られました。

全国ロボットコンテストで全国2位になって、ソチで行われる世界ロボットコンテストに出場することが決まりました。

地域や市役所等で募金活動を行いました。

11月21日から大会が開催されるそうです。

良い結果を出してくれたらと思っています。

- ⑧ 10月30日・31日、沖縄に出張しました。

内容は、アミークス国際学園の視察に行ってきました。

アミークス国際学園は、私学で旺文社と提携し、校内常用語は英語で、国際的な感覚を日本の学校の中で感じることができるまさにグローバル化した学校でした。

このような教育課程について、研究をしてきました。

- ⑨ 11月1日、油津赤レンガ館コワーキングスペースオープニングセレモニーに出席しました。

ヤフーで活躍されている若手実業家の話を聞かせてもらいました。

感覚的に私達と随分違うと感じました。

パソコンの中で仕事をしているということを私達にもわかりやすく身近に感じられるように話をしていただきました。

それが非常に印象的で私達もやれそうだという雰囲気になりました。

- ⑩ 11月2日、あがた祭に出席しました。

新聞紙上では、4千人の人出とでていました。

さすがに、吾田地区だと思いました。

- ⑪ 11月5日、全国伝統的建造物群保存地区協議会総会が東京であり出席しました。

伝建地区の維持のために、文化庁、文部科学省、財務省に請願を行ってきました。

宮崎県選出の国会議員の議員会館も訪問し、お話をさせていただきました。

- ⑫ 11月6日、内閣府の防災訓練が鶴戸小中学校であり出席しました。

- ⑬ 同日、「大きな木がほしい」プロジェクトに出席しました。

今回は、先生方との情報交換を行いました。

- ⑭ 同日、酒谷地区学校活性化推進会議に出席いたしました。

活性化推進会議の意見は、飢肥中学校と統合したほうがいいのではという意見が多かったです。

今後、酒谷小学校と酒谷中学校に意見を持って帰って、保護者に説明することになりました。

話がまとまれば、酒谷地区学校活性化推進会議から答申があると思います。

- ⑮ 11月7日、日南市ダンス同好会による交通遺児寄附金贈呈式に出席しました。

- ⑯ 11月11日、行財政改革推進本部会議に出席しました。
新しい戦略プランが具体的に提案されました。
「創客創人」のもと、今後、事業をどう展開するかということを協議しました。
- ⑰ 11月12日、学校改善プロジェクト会議に出席しました。
校長会、教頭会と協議しました。
- ⑱ 11月13日、自治会長との意見交換会に出席しました。
この時に南郷地区の山下会長のほうから、大堂津地区について、地震、津波の問題や小規模校になってきていることをふまえ、教育委員会のほうから統廃合について、提案すべきではないかという意見をいただきました。
あくまで、学校の統廃合については、活性化会議が中心となって話を進めることになっています。
しかし、防災面から考えると急ぐべきだということは、十分承知しています。
大堂津小学校は、10分から20分以内に最大14mの津波がくるということで防災マップにもでていますので、そういったことへの対応を具体的に急がねばなりません。
- ⑲ 11月15日、フェスタ in 東郷に出席しました。
県警の音楽隊が来て、その演奏を聞かせていただきました。
非常にいい演奏でした。

以上、活動報告を終わります。

(藤田委員) 「大きな木がほしい」プロジェクトについて、教えてください。

(黒木教育長) 私が数学の教諭をしていた時に、算数、数学でつまずくところは、大体、立体図形でした。

立体図形でつまずくのは、何故かということ、頭の中で形を描くことができないからだと思います。

何かいい方法がないかということで検討したところ、小さい時から立体の積み木を使って遊ばせれば、立体図形が体感できると考えました。

小学校低学年で遊んだ経験が生きていくと考え、今、積み木を開発しているところです。

9 前回の議事録承認

了承

10 議題について

協議1 小中一貫教育の現状と課題について

(加治屋指導主事)	小中一貫教育の現状と課題について説明。
(委員長)	ただいま、小中一貫教育の現状ということで、これまでの経過、成果、課題について、説明していただきました。
	概略は、おわかりになったと思います。
	御質問、御意見ありませんか。
(八木委員)	今後、細田地区や酒谷地区で小中一貫や統廃合について議論になると思っています。
	あと、今後、将来的に少子化になりますよね。
	50年後には、1億4千万の人口が8千万に減ると言われています。
	このように人口が半分になることが予想されるなか、そのあたりをふまえ日南市の小中一貫を考えないといけないと思います。
	それから、防災の面等も考えて、校舎等の建替えなども必要になってくると思います。
	このあたりも含めて、見通しを教えてください。
(教育長)	非常に難しい質問です。
	北郷小中学校は、うまく立ち上げたと思います。
	今の段階で、距離的に日南市内の小中学校と統合をするというのは、非常に難しいです。
	これも今のペースで人口が減少していくことが事実とすれば、日南市内に学校が何校必要かという問題になります。
	現段階では、活性化推進会議の答申を受けて、統廃合を進める形になっています。
	大堂津小学校の場合は、災害対策ということで動かないといけない状況です。
	あと、考えられるとしたら榎原地区になります。
	次の段階で桜ヶ丘小学校がでてくると思います。
	桜ヶ丘小学校は、油津小学校に近いので地理的にも考えられます。
	将来的には、飢肥小学校と酒谷小学校の問題もできます。
	私は、基本的に小学校がなくなると地域の方々が寂しくなると思いますので、活性化推進会議が統合という意見がまとまるまで、小学校

	は、存続でいいと思っています。 どうしても少人数の学校では、いろいろな人との出会いが少ないため、学びの場も少なくなっています。 中学校については、成長過程を考えると大きな集団で生活をさせたほうが子ども達の将来のためにいいのではと思っています。 これは、小学校についてもいえますが、地域の方々の小学校への熱い思いを考えると段階的にいくのであれば、中学校が先になってくると思っています。 今後は、多分、八木委員がおっしゃったように大きな変化がやってくると思います。
(委員長)	今の制度的には、活性化推進会議と適正化配置基準があります。 今後は、教育長がおっしゃったように防災の面等、総合的な判断をしなければならない時期がやってくると思います。 教育委員会制度が改正になり、市長が大綱を示すことになります。 そのようなものと絡めて、今後、検討されていくのではと思っています。
(教育長)	今の段階では、憶測しか言えません。 東郷小中学校の校門が2つあり、入口、下足室、職員室、事務室が別々でした。 今年、これでは一貫教育の意味がないので、校長先生にもっと一体化できる取り組みをしませんかということで話しをしました。 校門については、そのままですが、職員室、事務室については、今年の夏に1つにさせていただきました。 先生達もそういった形で取り組まないといけないという意識になっていただいたと思います。 今度は、校門を1つにしたいと考えています。 同じ校門を通して、学校に入り、下足室で小学校、中学校にわかれるような形を作りたいと思っています。
(委員長)	このことは、急ぎたいと思っています。 他に御意見はありませんか。
(委員長)	(意見なし) 大変分かりやすい説明をありがとうございました。 この件については、終わります。

協議2 ふれあいコミュニケーションについて

(委員長)	ふれあいコミュニケーションについてですが、協議事項が 2 つあります。 まずは、先日程行われました、「PTAと教育委員との意見交換会」の感想、反省について、議題にしたいと思います。 事務局のほうから説明をお願いします。
(瀬田主査)	ふれあいコミュニケーション「PTAと教育委員との意見交換会」のアンケート結果について説明。
(委員長)	たくさんのアンケート結果をまとめていただきました。 総括的には、そのアンケート結果の資料に記載してありますので、このことを参考にしながら、委員の皆様の感想や反省について、御意見をよろしくをお願いします。
(藤田委員)	会の前半は、会場の雰囲気が硬かったと感じました。 後半になって、PTA役員の皆様も意見がではじめました。 テーマそのものがPTA側とかみあわなかったと思いました。 このことを経験として、次の機会に生かせればと思います。 アンケート結果の中でも、次の機会を設けて欲しいという多くの要望がありましたので次の開催を考えていただいて、私達もそのような機会があれば是非参加したいと思いました。
(崎村委員)	PTAの役員の皆様と教育委員が意見交換するという時に、PTAの役員の皆様の期待が大きかったのではと思いました。 もっと意見を言いたかったのではと思いました。 アンケート結果を見ても、もっと意見を言う機会を作って欲しかったという意見もありました。 あと、このような機会を毎年数回できればという意見もあったので、最低年 2 回できればいいのかなと思いました。 教育委員会とPTA側とで意見交換をすることで、お互いを理解しあえれば、学校運営面からもいいことだと思います。
(八木委員)	私も同じような感じです。 教育委員会の方針がよくわかったとか教育委員を近く感じる事ができたとか、このような意見をもらったことが一番の成果だったと思います。 私達もそうですが、PTAの方々も毎年変わるので、1 年に 1 回は、最低開催されると意思の疎通ができるのかなと感じました。
(教育長)	なかなか、保護者に市の教育方針等伝える機会はないので、いい機会になったと思います。

(委員長)	アンケートにもありましたが、市の教育方針を聞く機会、あるいは、はじめて教育委員と話をする機会があったことは、大きな成果として感じていただいたのかなと思います。 ただ、意見交換をもっとしたかったというのは、本音の部分であると思います。 私もある程度、準備をする段階で、後で思ったのですが、教育長と担当監にいろいろ説明をしてもらいました。 そのことについて、質問や感想はありませんかと先に投げかければ、意見がでやすかったのかなと思いました。 そのことは運営面で反省しないといけない点だと思いました。 後は、お互いにどのようなものかなとイメージが掴めない部分があったと思います。 1 回目があると次の意見交換会もしやすくなるということで、土台づくりは、できたのかなと思っています。 今後、御意見がありました反省等を生かして、いい方向になるように考えていけたらと思っています。 今回の「P T Aと教育委員との意見交換会」の件については、終わります。
(瀬田主査)	藤田委員から「P T Aと教育委員との意見交換会」時に話題になったスマホ関係の資料について、提供があったことを説明。
(委員長)	「P T Aと教育委員との意見交換会」時にスマホの話題になりましたが、その時に藤田委員がお話しされたことの裏付けになる資料です。 なにか説明がありましたらお願いします。
(藤田委員)	提供した資料について、説明。
(委員長)	「P T Aと教育委員との意見交換会」時にスマホの問題がでましたが、解決策として、まだ具体的に進んでいません。 その解決策の情報提供にこの新聞記事がなと思います。 この資料を参考にしながら、今後の取り組みに活用できたらと思っています。
(委員長)	次に 2 つ目の協議事項に入ります。 「小中一貫校児童生徒と教育委員との意見交換会」ということで、ふれあいコミュニケーションを年 2 回実施しますが、その 2 回目になります。 事務局のほうから説明をお願いします。
(瀬田主査)	ふれあいコミュニケーション「小中一貫校児童生徒と教育委員との意見交換会」について説明。

(委員長)

今回は、小中一貫校の児童生徒との意見交換会ということで、まず対象校を北郷小中学校で提案しましたが、この点は、よろしいでしょうか。

(了承)

では、北郷小中学校で考えてください。

会の内容と会の流れについては、本日、教育委員の皆様の意見を聞いて、でてきた意見を取りまとめ、取りまとめた結果で学校に相談してきます。

学校に相談したうえで、ある程度決定ということになります。

この場で決定ではありませんのでいろいろ意見をいただきたいと思います。

案については、私の方で作成しましたので、補足説明をいたします。

案 1、案 2 があります。

北郷小中学校は、1 年生から 4 年生、5 年生から 7 年生、8 年生から 9 年生と 3 つに大きく分けて教育課程を作って、教育活動を行っています。

案 1 は、そこのそれぞれから、4 年生、6 年生、8 年生の代表児童生徒に集まってもらってやる方法になります。

案 2 は、4 年生の学級、6 年生の学級、8 年生の学級という学級単位で行う方法になります。

流れとして、第 1 部は、いつも行っているような、挨拶とか事務局職員紹介等、開会行事になります。

第 2 部は、教育委員会の仕事の内容を小、中学生に理解してもらえるような事業の紹介になります。

第 3 部は、意見交換会ということで、どちらの方法になるかわかりませんが、テーマとして、1 つは、せっかく小中一貫校を選んだのでそれにちなんだ「小中一貫校の良さについて」というテーマを設けてはと思います。

それからもう 1 つは、子ども達の意見を教育行政に反映させるために「小中一貫教育を含め、これからの日南市の教育へのあなたの提案について」というテーマを設けてはと思います。

コミュニケーションの流れとして、案 1 では、学級の代表者のみの参加になりますので、1 箇所ですべて終わらせるやり方になります。

案 2 は、第 2 部まで、1 箇所に集まっていただきます。

その後、学級に帰っていただいて、教育委員と事務局職員が組んで、3 つのクラスにわかれて、テーマに沿った意見交換をするやり方にな

	ります。 最後に、また 1 箇所が集まっていたいて、教育長の感想を言っ いただく形になります。 教育長については、全体を見ていただくので、教育長を除いた教育 委員で 3 つのクラスにわかれる形になります。 委員の皆様の御意見を聞いて、学校に相談したいと思います。 御質問、御意見ありませんか。 まず、教育委員会の事業紹介は、すごく大事だと思います。 子ども達は、教育委員会の仕事の内容を知らないと思うので、全体 で説明することは、必要だと思います。 その後の意見交換で意見がしやすいのは、案 2 のとおり、わかれた ほうがいいと思いますが、小中一貫教育の意味を考えたら、縦の意見 が聞けたほうがいいのではと思います。 4 年生、6 年生、8 年生とわかるよりは、縦でわけて、3 つのグルー プを作ったほうがいいのではと思います。 同じ学年で話し合うよりも中学生と小学生が一緒にいて、互いの意 見を聞くことにより、互いの考えを理解し、交流も図ることが出来る と思います。
(八木委員)	
(委員長)	案 1 と案 2 を合せたような案ですね。 代表の児童を集めて、更に 3 つのグループに分かれるということ ですね。
(八木委員)	そのあたりの人数の方が話しやすいと思います。 たくさんになるとなかなかしゃべれないかなと思います。
(藤田委員)	1 クラスの人数は、何名くらいですか。
(加治屋指導主事)	だいたい 30 名前後です。
(委員長)	例えば、八木委員の案だと 4 年生、6 年生、8 年生を縦に 3 グル ープに分けると合計は、30 人で 1 クラス分くらいになるので一緒です よね。 その際に、小学生が中学生と一緒にいて意見が言えるかどうかもち ろです。
(崎村委員)	意見が出れば、それが理想ですね。 上級生の意見や下級生の意見も聞くことができ、同じ意見でも発表 の仕方が違うと思います。 事務局側で意見がしやすいように配慮すればいいのかもしれない です。
(委員長)	代表者というより、1 クラス全部を 3 つに分けたほうがいいのかも

	しません。 学年の選定については、学校側から示してもらったのですか。 まだ、そこまでいっていません。 学校と相談したときにこのようなグループがいいと意見があったら変わるかもしれません。
(藤田委員)	私も八木委員のおっしゃった4年生、6年生、8年生を3つのグループに分ける案に賛成です。
(委員長)	第3案ですね。
(八木委員)	学年は、学校におまかせしてもいいと思います。 やっぱり活発なクラスとそうでないクラスがあるので、すり合わせた方がいいと思います。
(委員長)	グループを3つにわけたときは、指導主事の方に司会進行をしていただきます。 教育委員は、感想を聞いたり、こちらの意見をいったりするなどの立場で参加するような形になると思います。
(藤田委員)	意見交換は、事務局職員も入りますよね。
(委員長)	もちろん入ります。 教育委員会全体の質問もでたりすると思いますので、入っていただきます。
(教育長)	教育長は何か御意見はありませんか。 教育委員の皆さんが考えている意見交換会でいいと思います。 ただ学校が負担にならないような形が一番いいと思います。
(委員長)	一応、学年を大きく3学級にわけてもらって、それを更に3つのグループにわけるという八木委員のおっしゃった形で学校に相談してきます。 教育長については、全体を見て、最後に感想をいっていただく形で進めます。 本日、決められた内容で学校の方に相談してきます。 結果については、次回の定例教育委員会で報告したいと思います。 この件については、終わります。

協議 3 12月議会上程議案等について（12月補正関係）

(倉元課長)	学校教育課所管分について説明。
(早田課長)	生涯学習スポーツ課所管分について説明。
(委員長)	ただいま、説明していただきました内容について、御質問、御意見 ありませんか。
(八木委員)	質問いいですか。 宮崎の会社が指定管理になっていますが、雇用とかは、日南の方の 雇用になるのですか。
(早田課長)	宮崎の会社の提案内容は、引き続き、現在、雇用している人を中心 に地元を採用したいという御提案でした。
(委員長)	そのような、積極的な姿勢が評価されたものと思います。 他に御質問、御意見ありませんか。 (意見なし) 意見がなければ、この内容が12月議会で上程されることで御理解 ください。 この件については、終わります。

11 その他

(1) 12月行事予定について

(2) 第12回 教育委員会会議（定例）

- ① 日時 平成26年12月18日(木)、午後3時から
- ② 場所 南郷ハートフルセンター・学習室

12 閉会

会議録を調整し署名する。

平成 年 月 日

教育委員長

教育委員長職務代理者

教育委員

教育委員

教育長
